

## 離れて暮らす高齢者世帯への防災サポート状況、アンケート調査結果

2024年は能登半島地震、南海トラフ地震臨時情報の発表、豪雨被害など、自然災害に関するニュースにふれる機会が多く、離れて暮らす高齢のご家族やご親戚の防災準備が気になった方も多かったのではないのでしょうか。

そこで、今回、39都道府県でホームセンターを展開するDCM株式会社（本社：東京都品川区、代表取締役社長：石黒靖規、以下「DCM」）では、大都市圏の9店舗にご来店されたお客さまを対象に「離れて暮らす高齢者世帯への防災サポート状況について」をテーマにアンケート調査を行いました。

ここに、調査結果をご紹介します。

### 【調査の概要】

- ・名称：離れて暮らす高齢者世帯への防災サポート状況について
- ・実施期間：2024年10月19日（土）～11月17日（日）
- ・調査店舗：DCM新船橋店（千葉県）、DCM新浦安店（千葉県）、DCM稲城押立店（東京都）、DCM唐木田店（東京都）、DCM大井競馬場前店（東京都）、DCM久里浜店（神奈川県）、DCM21名古屋城北店（愛知県）、DCM春日井西店、（愛知県）、DCMなんば店（大阪府） 大都市圏9店舗
- ・調査方法：アンケート用紙 記入回答（有効回答：705名）

## 1. 離れて暮らす高齢者（65歳以上）世帯への防災サポート状況

### 約6割の方は離れて暮らす高齢者世帯に向けたサポートができていない

離れて暮らすご家族・ご親戚の中に、高齢者（65歳以上）だけでお住まいの方がいらっしゃる方に、防災のサポート状況を尋ねたところ、「サポートを行っていない」と回答した方が61%を占めました。

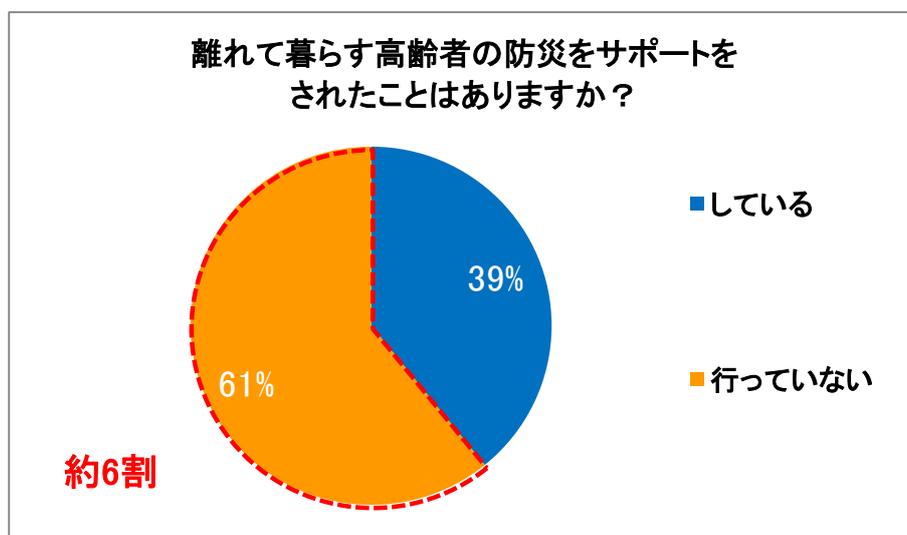


図1 離れて暮らす高齢者世帯への防災サポート状況

## 2. これまで取り組まれた防災サポートの内訳

### 防災サポートの内訳では、最も行われている「緊急避難先の確認」でも2割以下にとどまる

離れて暮らす高齢者世帯へこれまで防災サポートをしていると回答された39%の方に、どのようなサポートをされたのか内訳をお尋ねしたところ、緊急連絡先を確認したり、自分の連絡先を伝えるといった緊急時の連絡先についてのサポート、非常用の飲料・食料の準備についてのサポート、ハザードマップ・避難所・避難経路の確認についてのサポートが上位となりました。しかしこれら上位にあがった項目でも2割以下と防災サポートが進んでいないことが分かりました。

以下、内訳別に防災サポート状況をお伝えします。

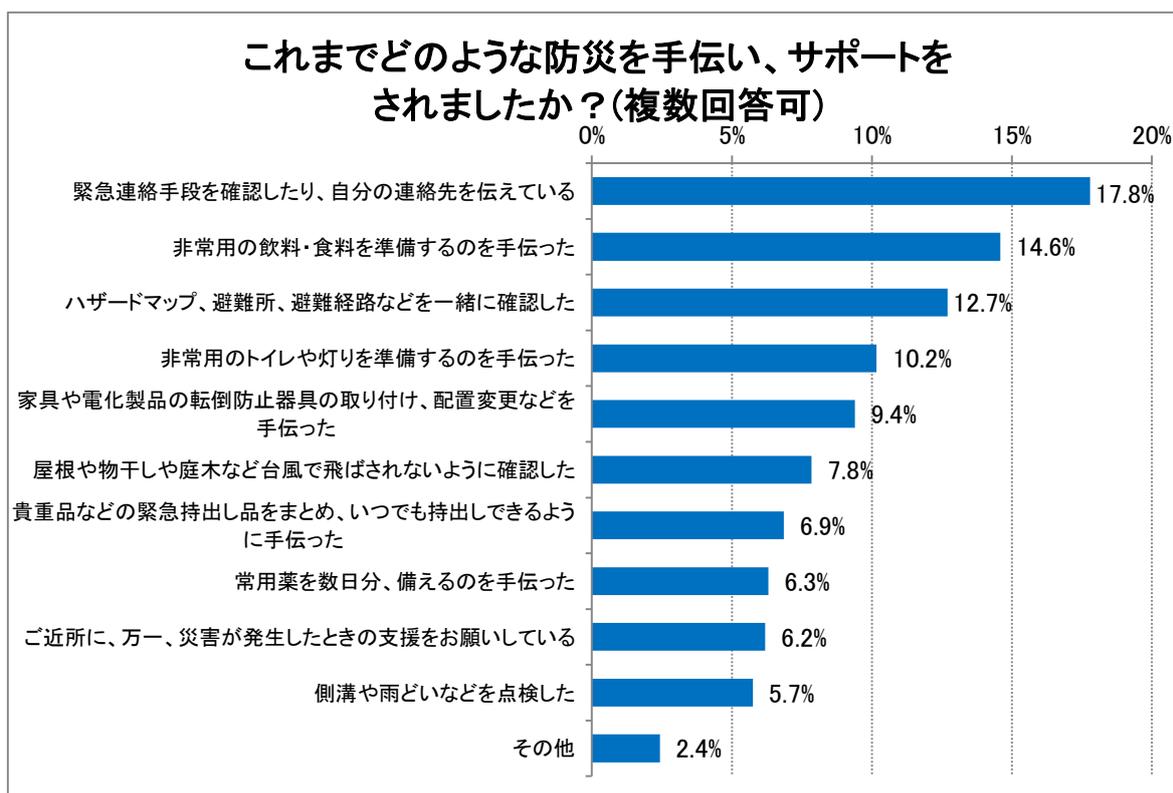
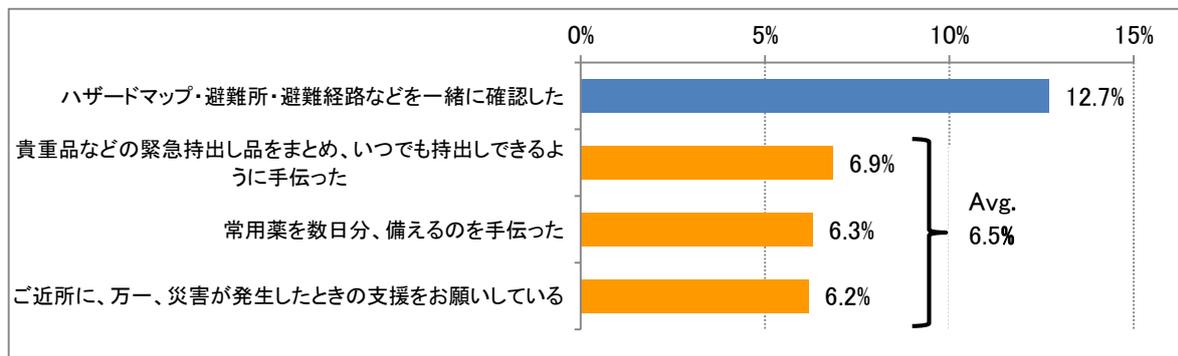


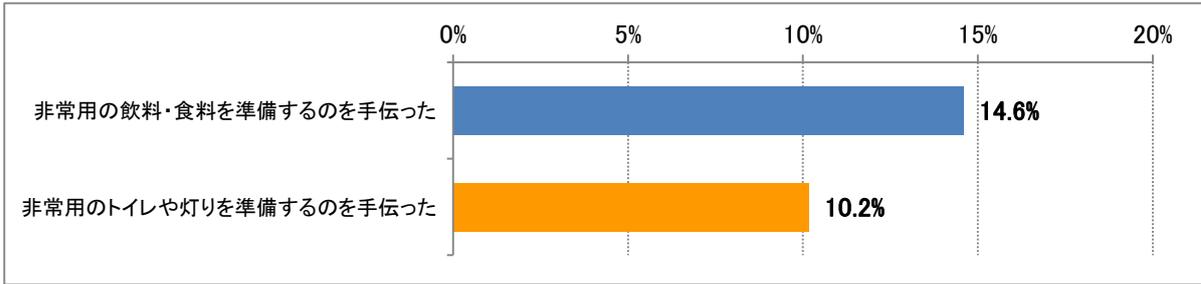
図2 離れて暮らす高齢者への防災サポートの内訳

### (1) 避難所への避難



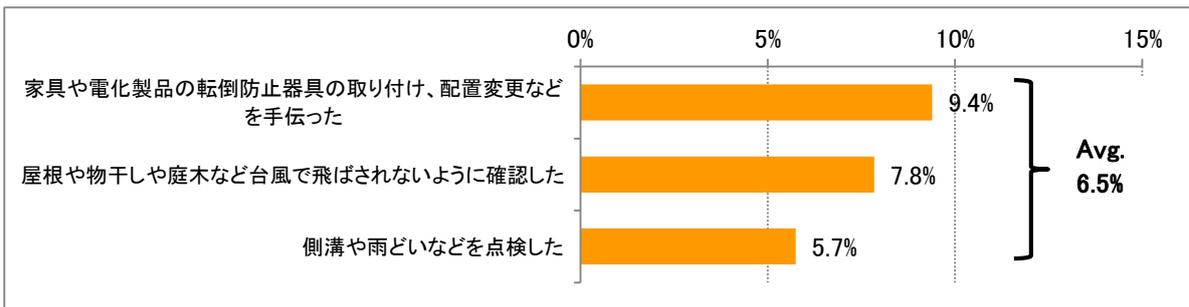
避難所へ避難する際に必要となるサポートのうち、ハザードマップ・避難所・避難経路などを一緒に確認するサポートと回答した方は約13%にとどまりました。また、実際に持ち出すことが必要となる、貴重品や常備薬などの準備、ご近所に、万一、災害が発生した際の支援をお願いすると回答した方は、避難経路の確認と回答した方の、さらに約半数にとどまり、具体的な備えは進んでいないことが分かりました。

## (2) 自宅避難



自宅避難で必要となるサポートのうち、非常用の飲料・食料の準備を手伝ったと回答した方は約15%に対し、近年注目されているトイレ・灯りについてサポートした方は約10%にとどまっている。

## (3) 災害発生時に身を守る



災害発生時に身を守るための家具の固定や、電化製品の転倒防止器具の取り付けや、屋根・物干し・庭木・側溝・雨どいの点検は、高所での作業や力仕事となるため、ご高齢者だけでの実施が難しく、サポートが必要となる場合が多く、平均 6.5%とサポートが進んでいないことが分かりました。

## 3. 防災のサポートを行う時期

**年末年始の帰省時やまとまったお休みがとれた時を利用して防災サポートを行う方が約2割**

地震や風水害など自然災害が発生した後や、テレビ・新聞・ネット記事で防災に関する報道を見聞きしたことをきっかけに、防災のサポートをする方が多くを占める中、年末年始の帰省時や会社・学校のまとまったお休みがとれる際に、計画的にサポートされる方が約2割となりました。

いつ、どこで発生するかわからない自然災害の備えは、平時から計画的に取り組むことが大切です。この年末年始の帰省時に防災サポートをされてみてはいかがでしょうか？

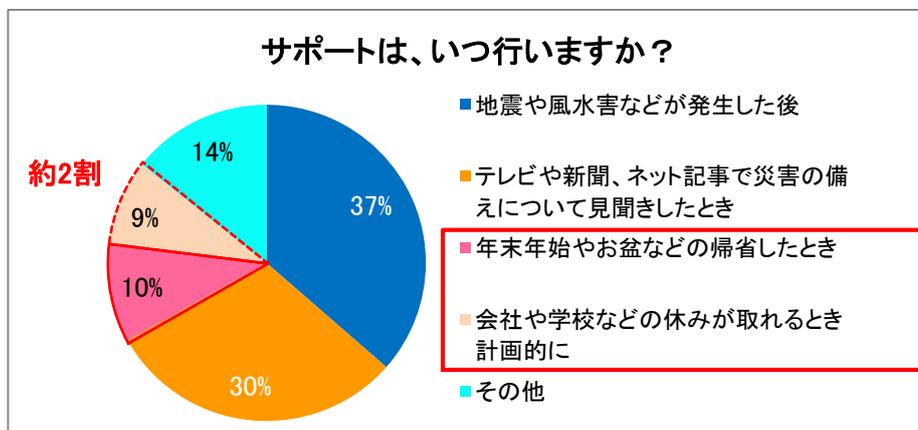


図3 防災の手伝い、サポートを行う機会

## 4. 防災用品の購入先

### ホームセンターと回答した方が約4割

防災用品の購入先をお尋ねしたところ、ホームセンターと回答された方が、約4割を占めました。

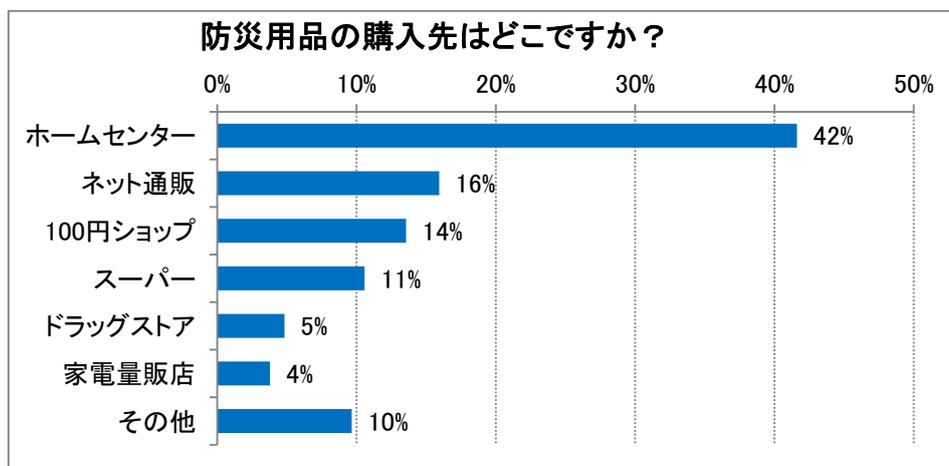


図4 防災用品の購入先

## 5. 防災用品をホームセンターで購入される理由

### 様々な防災用品が揃っていて、1店舗で購入できるからを選んだ方が約7割

ホームセンターを選ぶ理由として、様々な防災用品が揃っていて、1店舗で購入できるから、自分が知らなかった新しい防災用品も取り揃えているからと、防災用品の品揃えを理由に回答された方が多い結果となりました。

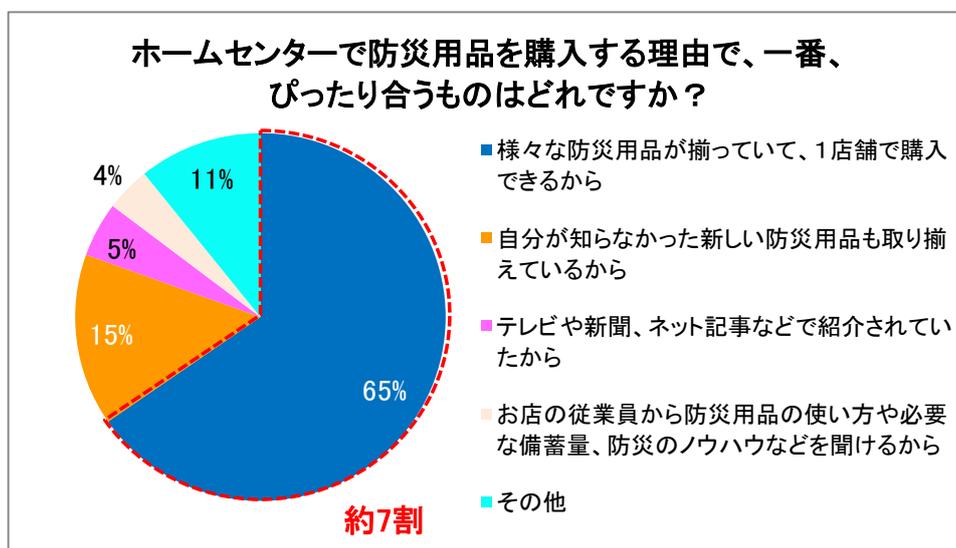


図5 防災用品をホームセンターで購入される理由

## 〈ご参考〉便利な防災用品 (PR)

### 【避難所への避難】

- ・防災バッグ30点セット 4,928 円(税込)



緊急用ホイッスル・乾電池式USBバッテリー・ハサミ・携帯トイレ 3 個・ランタンなど 30 点が入ったセットです。必要に応じて、ご自身で必要な避難用品(常用薬、大人用おむつ、杖など)を追加されることをおすすめします。避難用バッグは背負った後に両手が使えるリュック式です。

- ・折りたたみヘルメットブルーム 4,708 円(税込)



地震・台風などの自然災害の際に建物の倒壊や飛来物から頭部を守る必要があります。

避難時にはヘルメットや防災頭巾を被ることをおすすめします。

折りたたみ型のヘルメットは、ヒモを引くだけで簡単に組み立てられます。

収納性・携帯性に優れているので、家庭用の備蓄に最適です。

### 【自宅避難】

- ・便利な凝固剤 50 回分 2,508 円(税込)



被災後、排水管の無事が確認できるまでトイレの水は流せません。また、断水のときもトイレは使えません。このため、携帯トイレの備蓄が必要です。トイレは、1 人あたり 1 日 5 回分の準備が必要なため、家庭で使用する場合は大容量の凝固剤を用意することをおすすめします。

断水時のトイレにポリ袋等をつけて用を足し、凝固剤を振り掛けることで、水分を素早くゼリー状に固めます。

- ・DCM ランタンにもなる LED ライト 1,408 円(税込)



懐中電灯としてだけでなく、ランタンとしても使えるという 2 つの機能を持った持ち運びしやすいライトです。ランタンは部屋を明るくすることができるので、停電時の照明として重宝します。便利なフック付きでさまざまな場所に引っ掛けて使用することもできます。

- ・なでフク フィンガーウェットティ 60 枚入 767 円(税込)



お口の中の汚れをふき取る指サック型の口腔用ウェットティッシュです。水なしでそのまま拭けて洗い流し不要なので、水が使えない災害時でも使えます。歯みがきなどの口腔ケアを怠ると、体調不良の原因となりかねません。近年、防災用品の中でも口腔ケアグッズが注目されています。

## 【災害発生時に身を守る】

- ・家具転倒防止伸縮棒 ホワイト 1,738 円(税込)



地震発生時に大型家具が倒れてくると、床と家具の間に挟まり、大怪我につながる可能性があるだけでなく、扉が開かなくなり、部屋の中に閉じ込められてしまう恐れがあります。

しっかりと家具の転倒防止策を講じることで、身を守ることに繋がります。

- ・スーパータックフィット薄型大画面テレビ用 4,378 円(税込)



地震発生時、薄型テレビは、倒れやすく大変危険です。倒れてきたテレビが体に当たると怪我をするリスクがあるだけでなく、液晶が割れ、鋭利な破片が床に散らばってしまうと避難行動が難しくなります。

スーパータックフィット薄型大画面テレビ用は、テレビ背面と壁を専用ベルトで固定、スタンド部を粘着マットで固定します。薄型テレビの上部・下部の両方を固定することで、重心が高い大型テレビの転倒防止に威力を発揮します。

- ・飛散防止フィルム 縦 320×横 1800mm 1,042 円(税込)



地震や台風などで窓ガラスが割れて破片が飛び散ることで被害が拡大してしまう場合があります。飛散防止フィルムをガラスに貼ることでガラスが割れても、周囲に破片が飛散するのを防ぎます。ガラスに衝撃が加わっても割れにくくなるわけではない点には注意が必要です。

※表示価格は 2024 年12月時点の価格です。

### DCM株式会社とは

全国 39 都道府県でホームセンター事業を展開しております。全国に約 660 店舗・従業員約 2 万人を擁しております(2024 年 2 月末現在)。

グループ共通の経営理念「Do Create Mystyle 暮らしの夢をカタチに」のもと、お客さまのために、新しい商品・サービスを創造し、変化に柔軟に対応しながら、地域と団結し、社会に奉仕する、なくてはならない企業のカチを実現します。

※2024 年 9 月、DCM株式会社は株式会社ケーヨーを合併しました。

### 本件、画像などについてのお問い合わせは

#### DCM株式会社

東京都品川区南大井 6-22-7 大森ベルポート E 館

#### 広報担当：平賀・常松

[MAIL] [pr@dcm-hldgs.co.jp](mailto:pr@dcm-hldgs.co.jp)

[URL] DCMホールディングス株式会社 [www.dcm-hldgs.co.jp/grp/](http://www.dcm-hldgs.co.jp/grp/)

DCM株式会社

[www.dcm-hc.co.jp/](http://www.dcm-hc.co.jp/)